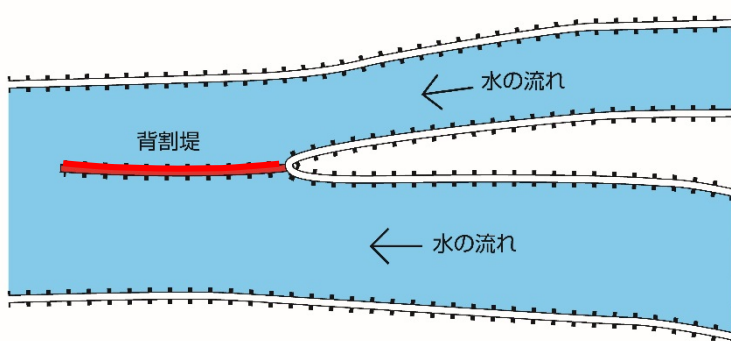


荒川と入間川の合流点の改修

～背割堤～

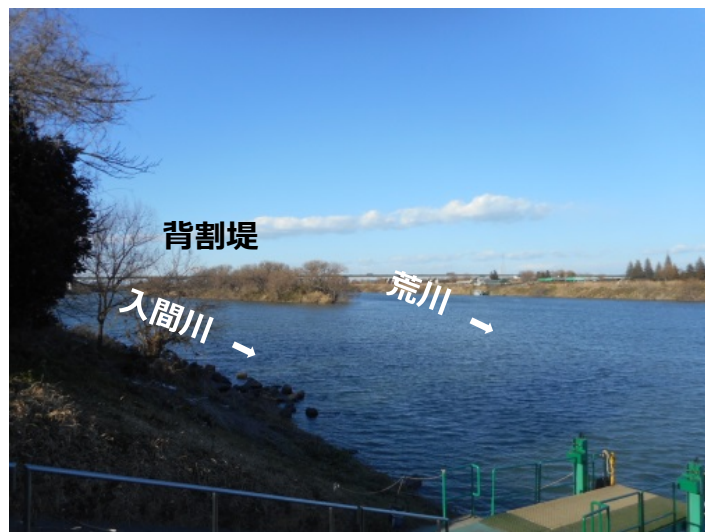
2つの河川を緩やかに合流させることで、
合流点からの洪水の逆流を防ぐ役割を果たしています。

荒川上流部改修から
100年
1918-2018



背割堤略図

背割堤により、流れの異なる2河川の合流をなめらかにしたり、
水位差による影響を軽減させます



荒川左岸から背割堤を望む

背割堤とは

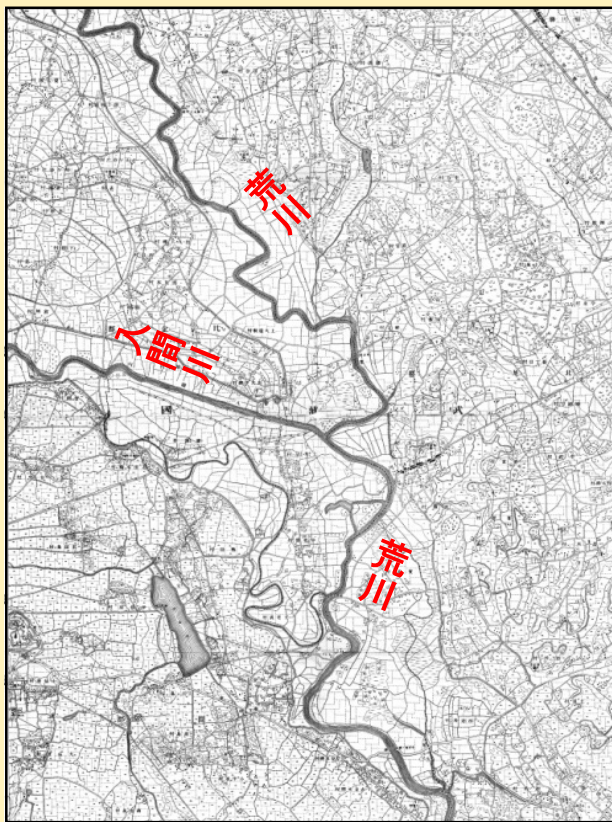
川の合流部、2つの川に挟まれているのが背割堤です。背割堤は2つの河川を緩やかに合流させることで、合流点からの洪水の逆流を防ぐ役割を果たしています。

以前、荒川と入間川はほとんど直角に合流しており、洪水時には荒川本川が入間川へと逆流し、入間川沿川が出水被害をこうむるということがしばしばありました。そこで、入間川の改修計画では荒川と入間川の合流点を下流に付替え、背割堤を築堤し、入間川流域を荒川本川の逆流被害から救うこととし、1931～1954（昭和6～29）年にかけて荒川と入間川の合流点改修が行われました。

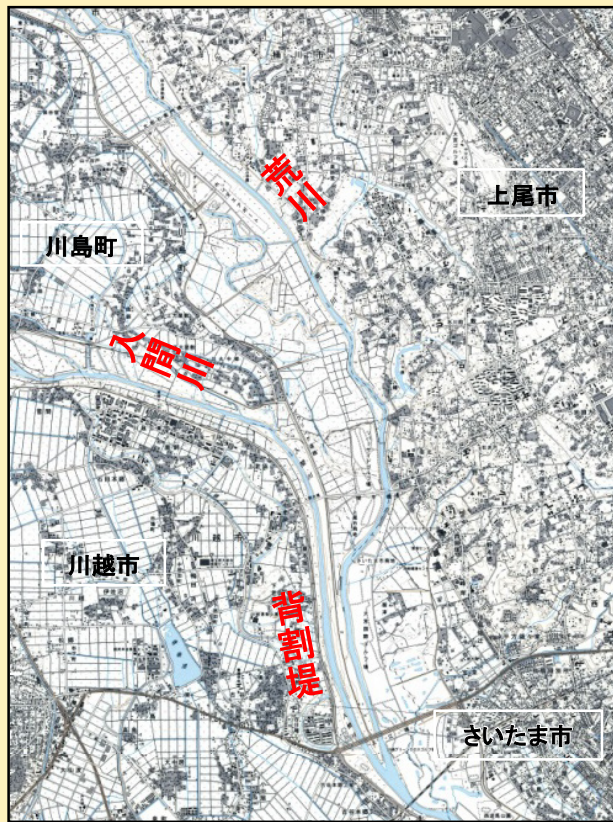
▶ 入間川との合流点改修

入間川はほとんど直角に荒川に合流し、洪水時には逆流による被害が生じていました。そのため、入間川合流点の改修工事は荒川本川改修と並行して実施することになりました。

新たに新川を開削して合流点を下流5kmの地点に引き下げて、荒川と入間川の間に背割堤を設けて分離を行い、1954（昭和29）年に完成しました。



明治14年測量の地方迅速図



平成20年作成の地形図

コラム 三川分流工事 ～入間川・越辺川・小畔川～

荒川の支川である入間川、越辺川、小畔川の三川の合流付近では昔から水害に悩まされてきました。川の流れる筋路を変えて緩やかに合流するように分流工事をを行い、1954（昭和29）年に完成しました。

三つの川が背割堤等によりはっきりと分離し合流を穏やかにすることで、逆流による川のはん濫を防ぐ効果があります。



アクセス

背割堤

交通：川越線「指扇駅」下車、徒歩5分、西武バス「西遊馬」より「川越グリーンパーク」行き、「本郷裏」下車、徒歩5分

住所：埼玉県川越市古谷上



背割堤

